

# ボランティア♥通信 2月号

2018年2月28日発行

## SVNが「平成29年度（第15回）学生ボランティア助成団体」に選出されました

課外活動団体 ソフィアボランティアネットワーク（SVN）が一般財団法人 学生サポートセンターの主催する「平成29年度（第15回）学生ボランティア助成団体」に選出され、2月7日（水）に授賞式が行なわれました。

この助成金制度は、自由な発想と行動力によって社会貢献を計画・実行している学生の団体を対象に、組織の活性化やネットワーク作りなどを経済的に支援し社会貢献活動を支援するために設立され、本年度は45大学・1専門学校から、地域連携、国際交流、福祉などの分野で活動を行なう46団体が助成団体として選ばれました。

### 受賞のことは

（SVN2017年代表・経済学部経済学科3年 高木 大志 君）

この度は私たちの活動をこのような形で評価して頂き、とてもありがたく感謝の気持ちで一杯でございます。表彰式では様々な活動を運営している他大学の方々とお会いしお話しすることができ大変刺激を受けました。

東日本大震災を機に立ち上がった私たちですが震災から早くも7年が経ち、被災地のニーズと私たちができる活動とはなにかについてメンバー一同、今が見つめなおす時期であると考えています。同じように様々な分野で活躍されている他大学の方々とも交流をもち、今後も皆が笑顔になれる活動を続けていきたいと思ひます。



## 災害と他者理解講座 ～傾聴について理解を深めよう～



2月15日（木）、ボランティア・ビューロー開講講座『災害と他者理解講座 ～傾聴について理解を深めよう～』を、11号館SSIC（Sophia Student Integration Commons）にて行ないました。

講師に災害救援ボランティア推進委員会主任・東京社会福祉士会災害支援活動協力員 宮崎賢哉氏をお迎えし、12名の本学学生が、「被災する」とはどういうことなのか、つらい経験をされた方に寄り添うときのこころを、グループワークなどを含めて学びました。

ボランティアにとって最も大切な視点は、「被災された方の目線で考える」ということです。ふとした一言が相手の心を暖かくもすれば、傷つけることもあります。同じ土地の方々でも、「被災者」とひとくりにすることはできず、失ったものや負った傷はお一人おひとり違います。

それぞれの方の言葉や行動の奥にある隠された傷や思いをみつめ、その方の心に目を向ける姿勢を、これからの支援活動に役立てていきたいです。

心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。  
かんじんなことは、目に見えないんだよ。

出典  
『愛蔵版 星の王子さま』、岩波書店、  
サン＝テグジュペリ 作、内藤輝 訳、P99より



## 御礼



2月13日（火）、14日（水）の2日間、台湾東部で発生した地震への義援金を募る募金箱を、学内窓口に募金箱を設置しました。

2日間で**50,611円**の義援金をお寄せ頂きました。

休暇期間中にも関わらず足を運んでくださった学生さんなど、みなさまより多くのご支援を頂いたことを心より御礼申し上げます。

全額を「Taiwan Catholic Mission Foundation」へお届けさせていただきます。

ボランティア・ビューローでは東北・九州復興支援活動について交通費の補助を行なっています。

制度の詳細は右記のQRコードまたは<http://bit.ly/2BJg2Hc>からご確認くださいませ。

ご興味のある人はぜひ、ご覧ください！

※2018年3月までの活動については3月7日（水）までに事前申請をお願いします。

上智大学ボランティア・ビューロー 2号館 1F 学生センター⑧窓口

Tel : 03-3238-3525 Mail : [volunteer@cl.sophia.ac.jp](mailto:volunteer@cl.sophia.ac.jp) Twitter : @SophiaVolante



上智大学ボランティア・ビューロー（ボランティア）  
SOPHIA VOLUNTEER BUREAU